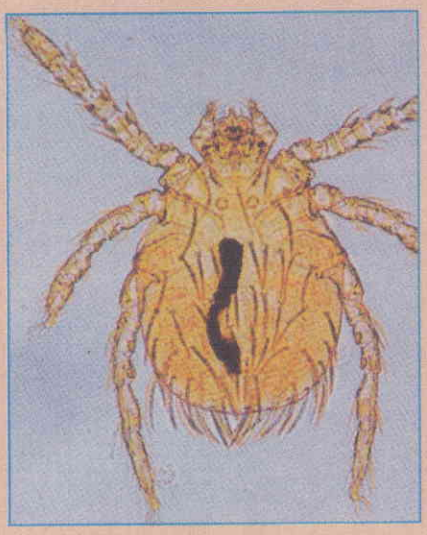
ツツガムシ

感染症をおこすダニ



ツツガムシ（幼虫）
体長0.3～0.7㎜　うすい赤色

ツツガムシ（幼虫）の刺し口

ツツガムシの生息場所

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生　　多い

ツツガムシは野外にいるダニで、病原体（リケッチア）をもった幼虫が人を刺すと、ツツガムシ病をおこします。

ツツガムシの幼虫は野ネズミなどに寄生し、野山、河川敷などにいます。

ツツガムシ病は、伊豆諸島に多く、最近では、多摩地域でも発生したことがあります。

症状

・38℃をこえる熱が比較的長く続きます。
・全身がだるく、頭痛や関節痛があります。
・リンパ節がはれて痛むことが多い。
・ツツガムシ特有の「刺し口」（写真）があります。

予防

・野山、河川敷などでは肌の露出をさけます。
・肌の露出をしているところは忌避剤（虫よけ）を塗ります。
・地面に直接寝転んだり、腰をおろしたりしない。
・野山などに行った後はすぐ着替え、衣類は洗濯します。

治療

カゼと間違えると危険です。ツツガムシ病の症状があったら、すぐに医師の診察を受けます。

有効な治療薬がありますから、診断さえつけば、ツツガムシ病はそれほどこわい病気ではありません。